



す。この方向性は現在の、そしてこれからのクルマのチューニングに非常にマッチしていると思っと思っています。さらに言うと、アメリカ市場においてはチューナーが自らホイールを開発しているというのはユニークです。ハードチューンを求める人からすれば物足りないかもしれませんが、エンジンのパワーアップやボディ補強、ブレーキシステムやレベルアップとそれにマッチした機能を持つホイールがひとつのブランドで揃うというのは、トータルでのクオリティ向上に大きな役割を果たせると思っっています。とくに最近では、ノーマル車の良いところはそのままに、ホイールにコスメリックなデザインを求めるユーザーが増えています。その点で言えばフローリングホイールはとて有利です。トータルチューニングができる、チュー

ナーがつくったホイールは価値があると思っっています」  
 これからのニュースピードの展開についてはどう考えているのだろうか。  
 「VWのラビットなど、コンパクトカーを対象にしたパーツを弊社では扱ってききましたが、クルマはどんどん高級車化されてきています。今後、EVが増えていけば、静かさという部分をもととして、クルマはさらに高級化していくでしょう。そのときに必要なのはコスメリック的な、たしかに機能性を持ちながらもコスメリック的な価値があるパーツの開発だと思っっています。ニュースピードが得意としている補強パーツやホイール、ブレーキシステムなどは、まさにそこにあてはまるものです。こういったパーツの開発については、たしかに技術的ノウハウを我々は持っっています。チュー

ナーとしてホイール開発を続けてきた歴史も強みのひとつです。そんな財産を活かしながら、ニュースピードとしてユーザーの方々にコスメリックな方向性も含めたさまざまな提案を続けていきたいと思っっています。幸い日本ではイシカワさん(イシカワエンジニアリング代表・石川隆氏)が協力してくれていて、さまざまなアイデアを出してくっっています。おそらくこれからのクルマは3万ドル(約450万円)と9万ドル(約1350万円)にわかれていくのではないかと思っっているのですが、ニュースピードには現在でも、そのどちらにも対応できるパーツがあります。とくに9万ドルのほうはメーカー保証の関係もあり、いわゆるライトチューンが主流となるでしょう。そこにも力を入れながら、進化を続けていくというのが目標です」



### NEUSPEED | Power Module EVO

ニュースピードパワーモジュールEボ



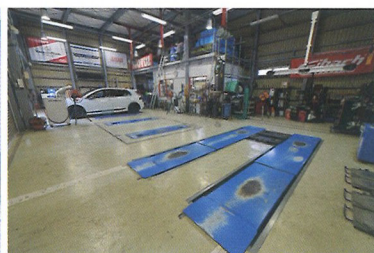
### NEUSPEED | P-Flo Kit

ニュースピードピーフロキット



### NEUSPEED | 6-Piston + 2-Piece Big Brake Kit

ニュースピード6ピストン+2ピースビックブレーキキット



#### Shop Info ■■■

### ISHIKAWA ENGINEERING

イシカワエンジニアリング  
 〒246-0001  
 神奈川県横浜市瀬谷区御本町 2162-10  
 TEL.045-442-8777  
 営業時間: 10:00 ~ 18:00  
 定休日: 毎週水曜日 / 隔週 日曜日、月曜日  
<https://ishikawa-engineering.com>